



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

英語教育の小中高連携を考える

—令和時代の英語教育が目指すもの—

吉田研作

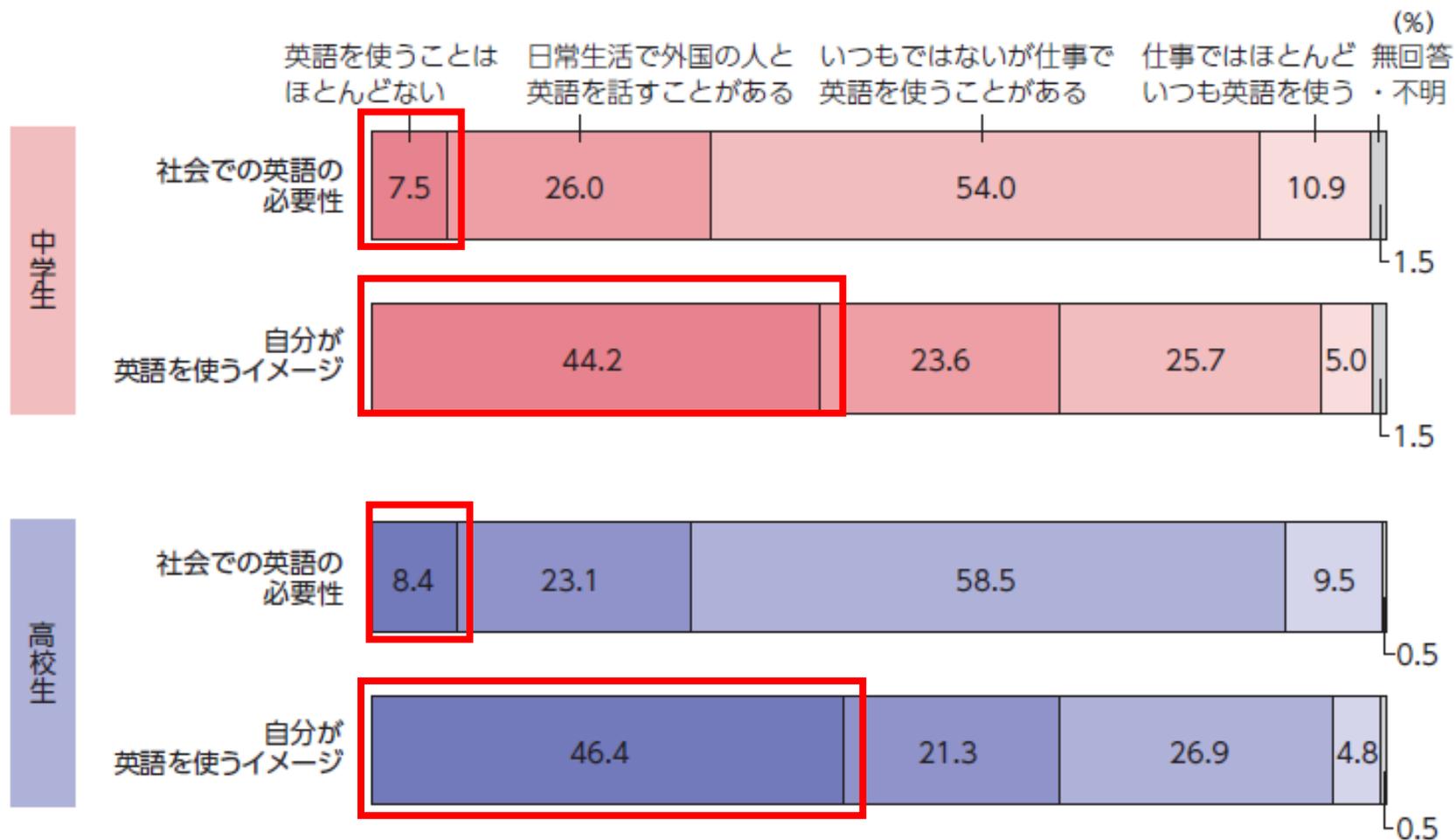
yosida-k@sophia.ac.jp

英語に対する自信のなさ



あなたが大人になったとき、①社会ではどれくらい英語を使う必要がある世の中になっていると思いますか。また、②あなた自身はどれくらい英語を使っていると思いますか。

図4-1 社会での英語の必要性と自分が英語を使うイメージ

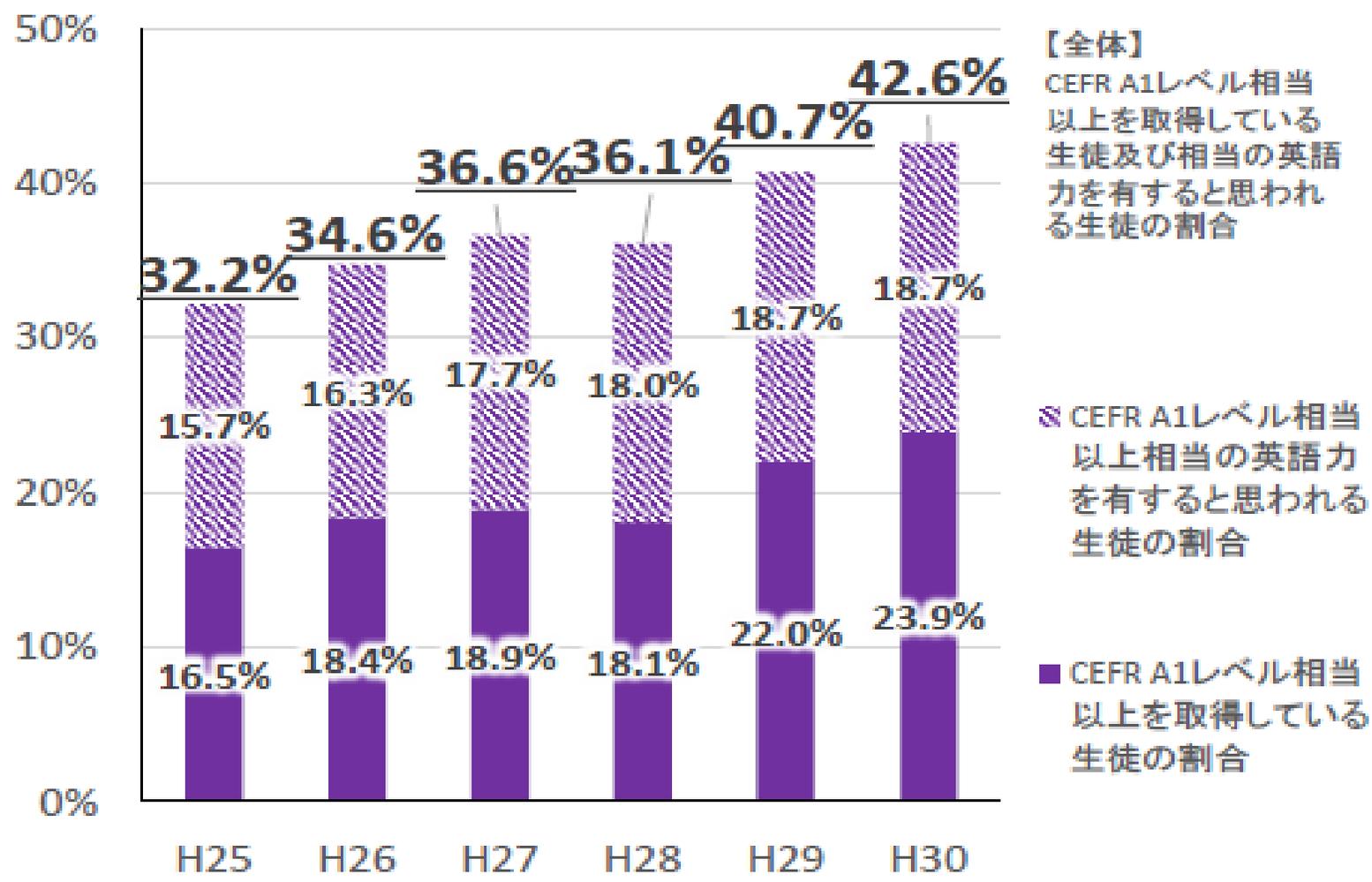


中高生の英語学習に関する実態調査2014 (ベネッセ、2015)

英語教育の現状

平成30年英語教育実施状況調査

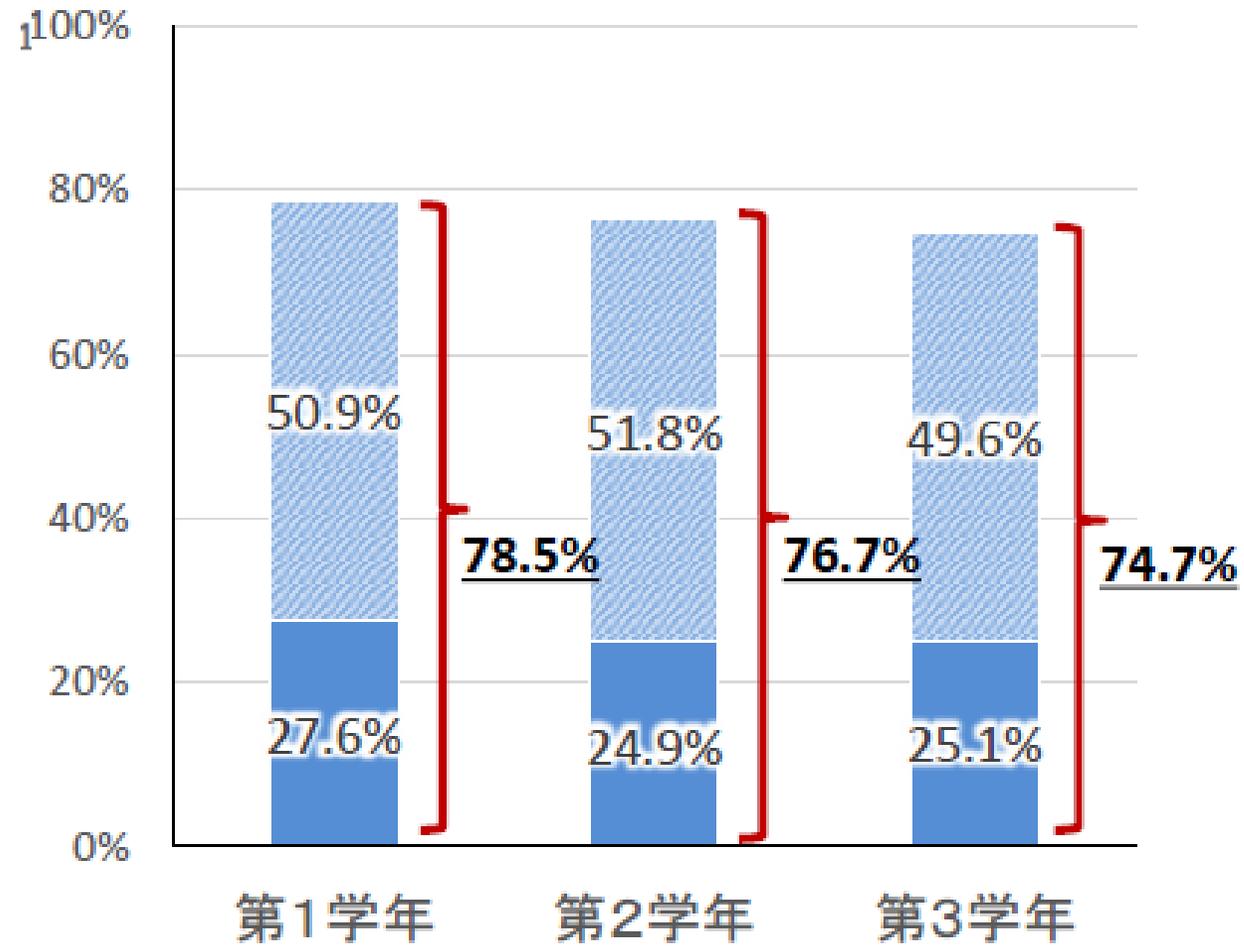
中学生 (CEFR A1レベル相当以上)



【中学校】

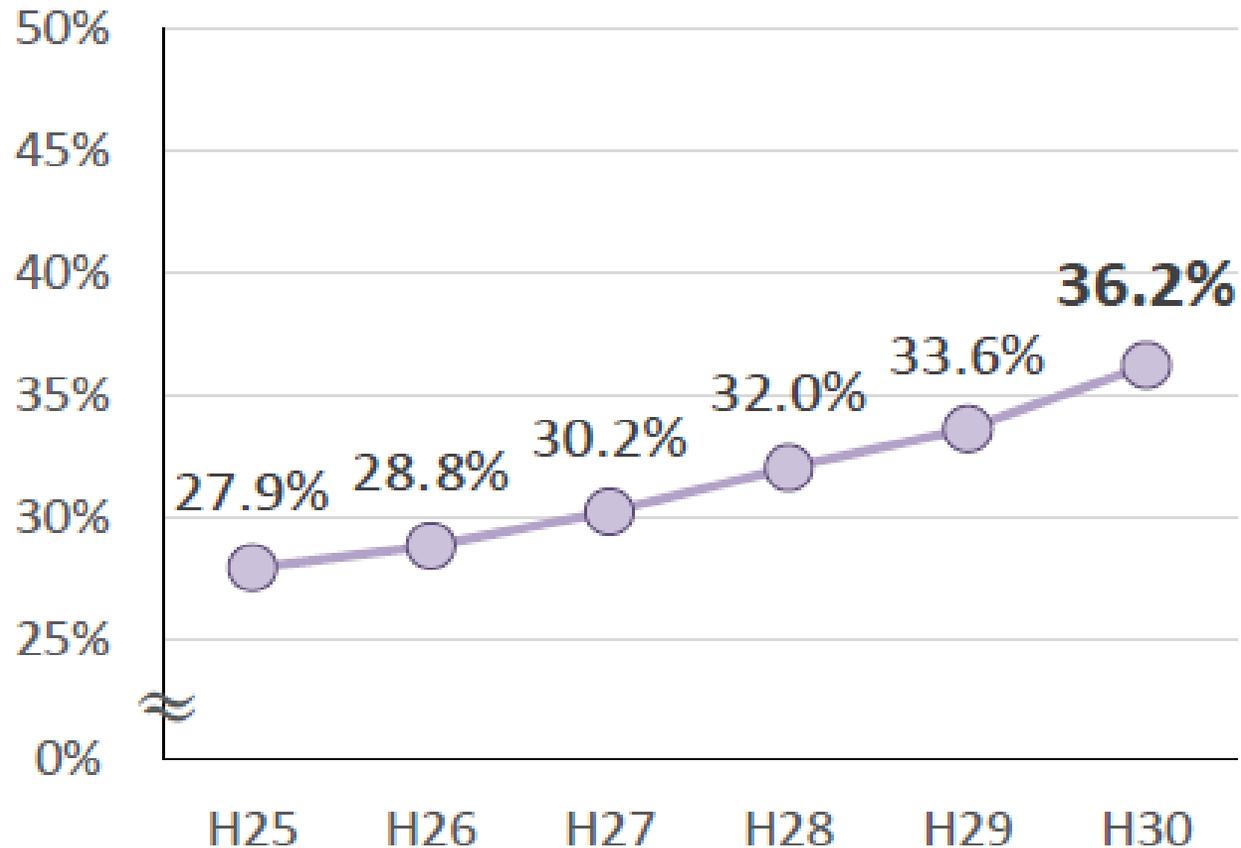
授業の**50%以上**で言語活動を行なっている

授業の**75%以上**で言語活動を行なっている



中学校 英語教師
(CEFR B2レベル相当以上)

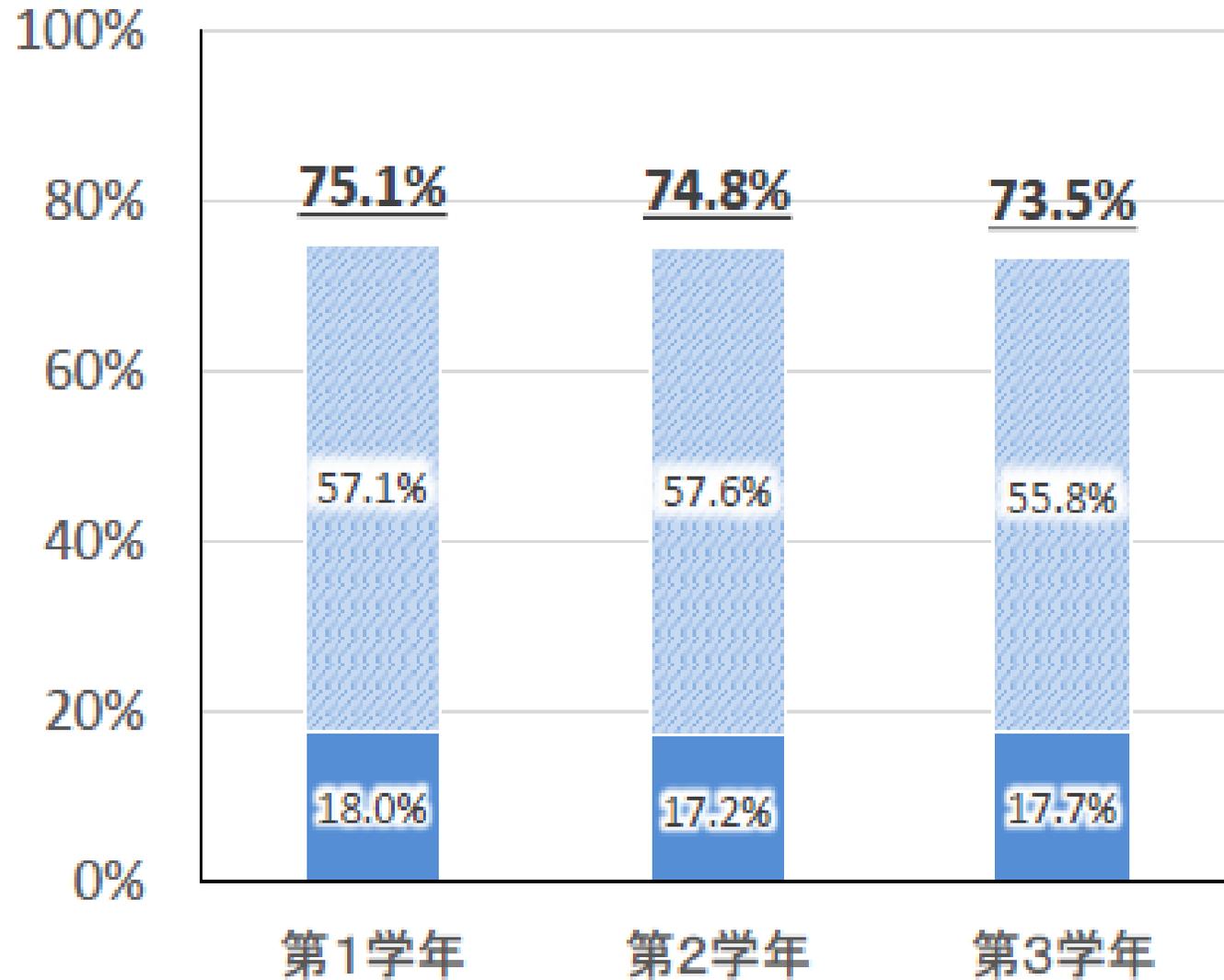
● 英語担当教師(※)のうち、CEFR B2レベル以上を取得している教師の割合



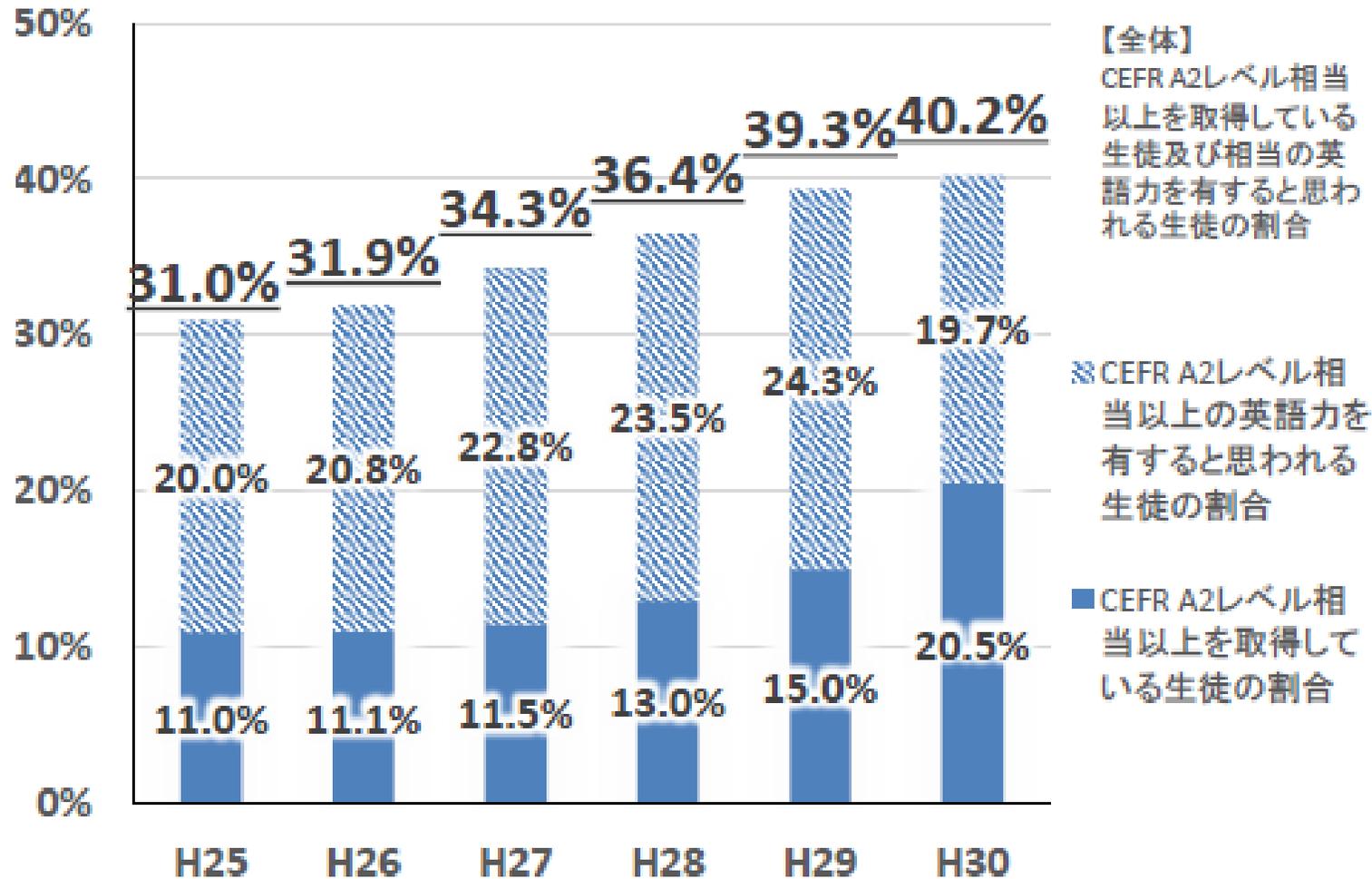
【中学校】

授業の**50%以上**を英語で行なっている

授業の**75%以上**を英語で行なっている



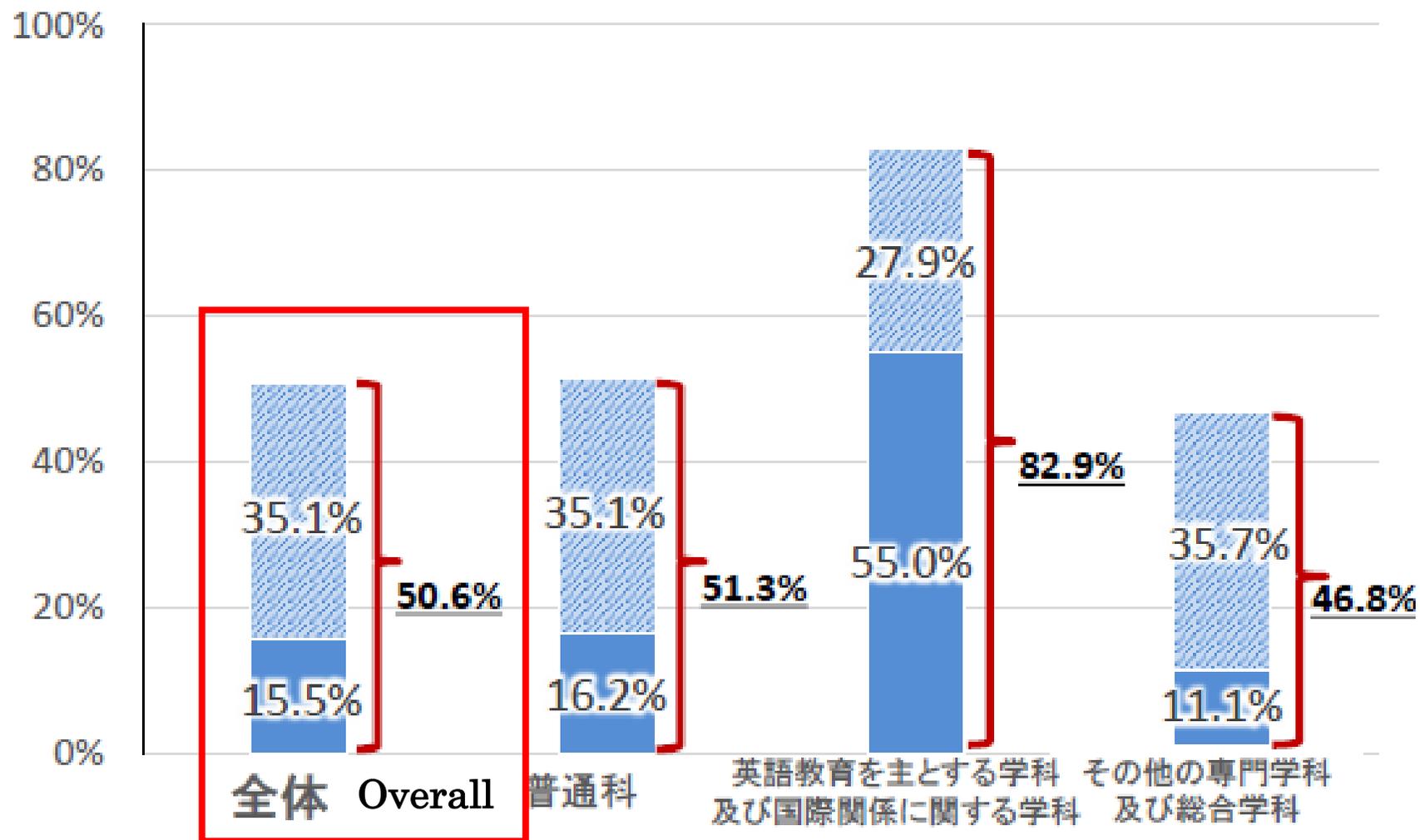
高校生 (CEFR A2レベル相当以上)



【高等学校】

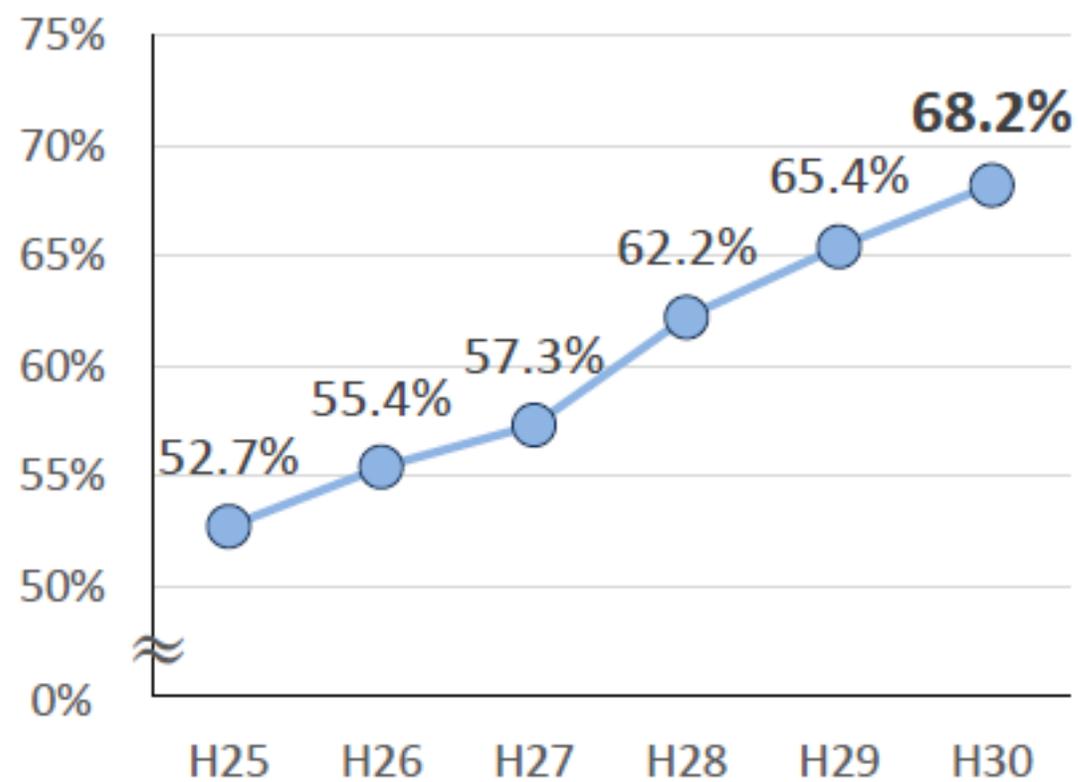
授業の**50%以上**で言語活動を行なっている

授業の**75%以上**で言語活動を行なっている

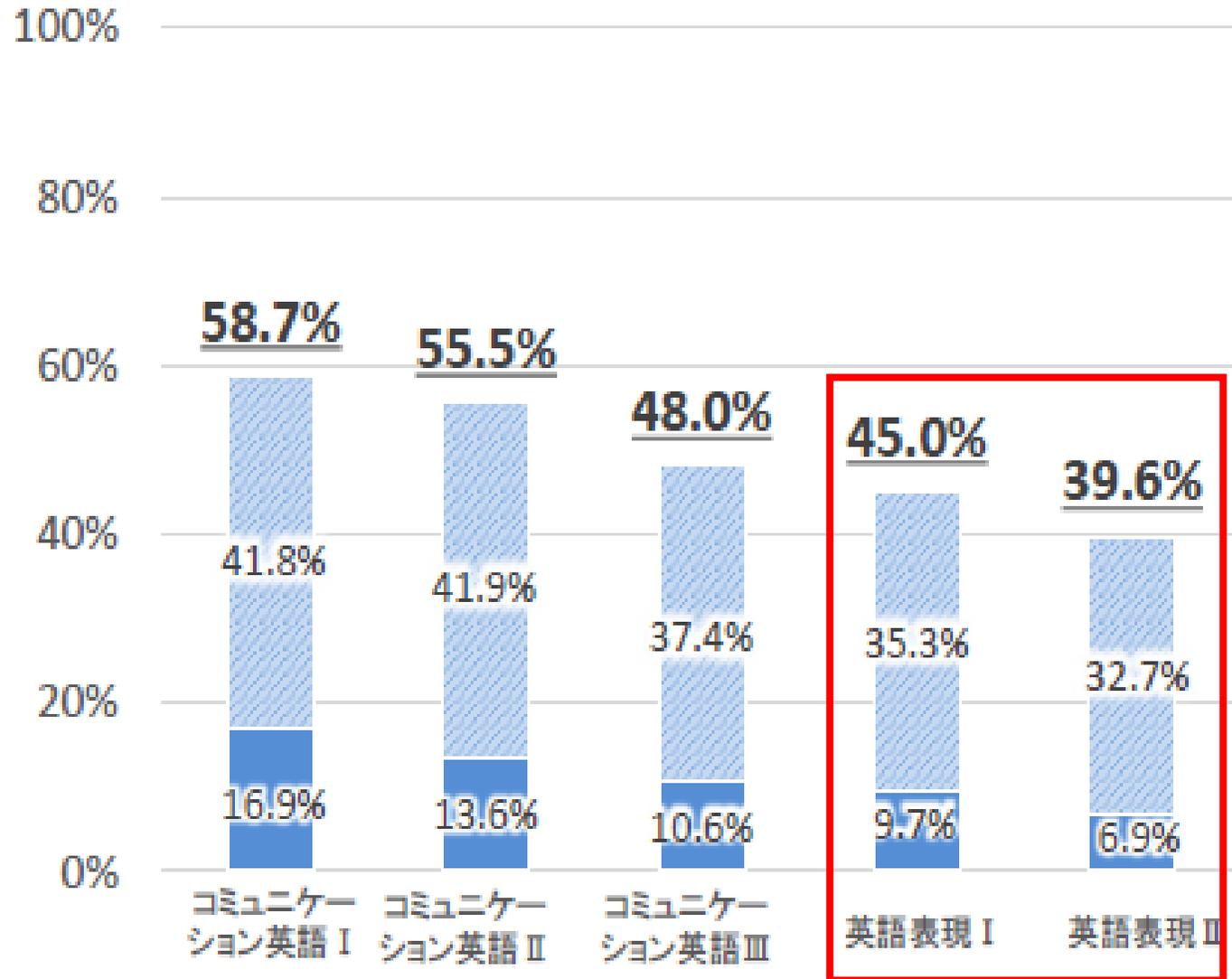


高等学校 英語教師
(CEFR B2レベル相当以上)

● 英語担当教師(※)のうち、CEFR B2レベル以上を取得している教師の割合



【高等学校】



授業の**50%以上**を英語で行なっている

授業の**75%以上**を英語で行なっている

■生徒の英語力に関する指標と相関が見られる調査項目

中学生 (CEFR A1レベル (英検3級) 相当以上)	高校生 (CEFR A2レベル (英検準2級) 相当以上)
・ 小中連携の実施 (特に小中連携カリキュラム作成)	・ ICTを活用している学科の割合
・ 教師が発話を概ね (75%以上) 英語で行っている割合 ・ 授業の大半 (75%以上) で生徒の言語活動を行っている学校の割合 ・ 話すこと・書くことのパフォーマンス評価の実施割合 ・ ICTを「話すこと」の言語活動に活用している学校の割合	・ CEFR B2相当以上の資格を有する教師の割合 ・ ALTを活用した授業時数の割合 ・ 「話すこと」「書くこと」のパフォーマンステスト (評価) を実施する学科の割合 ・ 授業の半分以上で生徒の言語活動を行っている学科の割合 ・ 教師が発話の半分以上を英語で行っている学科の割合
等	等

留意事項

内容の取扱い

- (1) 中学校におけるコミュニケーションを図る資質・能力を育成するための総合的な指導を踏まえ、**五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、総合的に指導するものとする。**
- (2) 中学校における学習との接続のため、既習の語句や文構造、文法事項などの学習内容を繰り返したり、**特にこの科目の学習の初期の段階においては中学校における基礎的な学習内容を整理したりして指導し、定着を図るよう配慮するものとする。**

カリキュラム策定の考え方

構造シラバス（知識・技能）（演繹的学習）

音声

次に示す事項のうち基本的な語や句，文について取り扱うこと。

- (ア) 現代の標準的な発音
- (イ) 語と語の連結による音の変化
- (ウ) 語や句，文における基本的な強勢
- (エ) 文における基本的なイントネーション
- (オ) 文における基本的な区切り

文字及び符号

- (ア) 活字体の大文字，小文字
- (イ) 終止符や疑問符，コンマなどの基本的な符号

語，連語及び慣用表現

- (ア) 1 に示す五つの領域別の目標を達成するために必要となる，第3学年及び第4学年において第4章外国語活動を履修する際に取り扱った語を含む600～700語程度の語
- (イ) 連語のうち，`get up`, `look at`などの活用頻度の高い基本的なもの
- (ウ) 慣用表現のうち，`excuse me`, `I see`, `I'm sorry`, `thank you`, `you're welcome`などの活用頻度の高い基本的なもの

文

- a 単文
- b 肯定, 否定の平叙文
- c 肯定, 否定の命令文)
- d 疑問文のうち, be動詞で始まるものや助動詞 (can, doなど) で始まるもの, 疑問詞 (who, what, when, where, why, how) で始まるもの
- e 代名詞のうち, I, you, he, sheなどの基本的なものを含むもの
動名詞や過去形のうち, 活用頻度の高い基本的なものを含むもの

文構造

- a [主語＋動詞]
- b [主語＋動詞＋補語]のうち, 名詞主語＋be動詞＋代名詞 / 形容詞
- c [主語＋動詞＋目的語]のうち, 名詞主語＋動詞＋代名詞

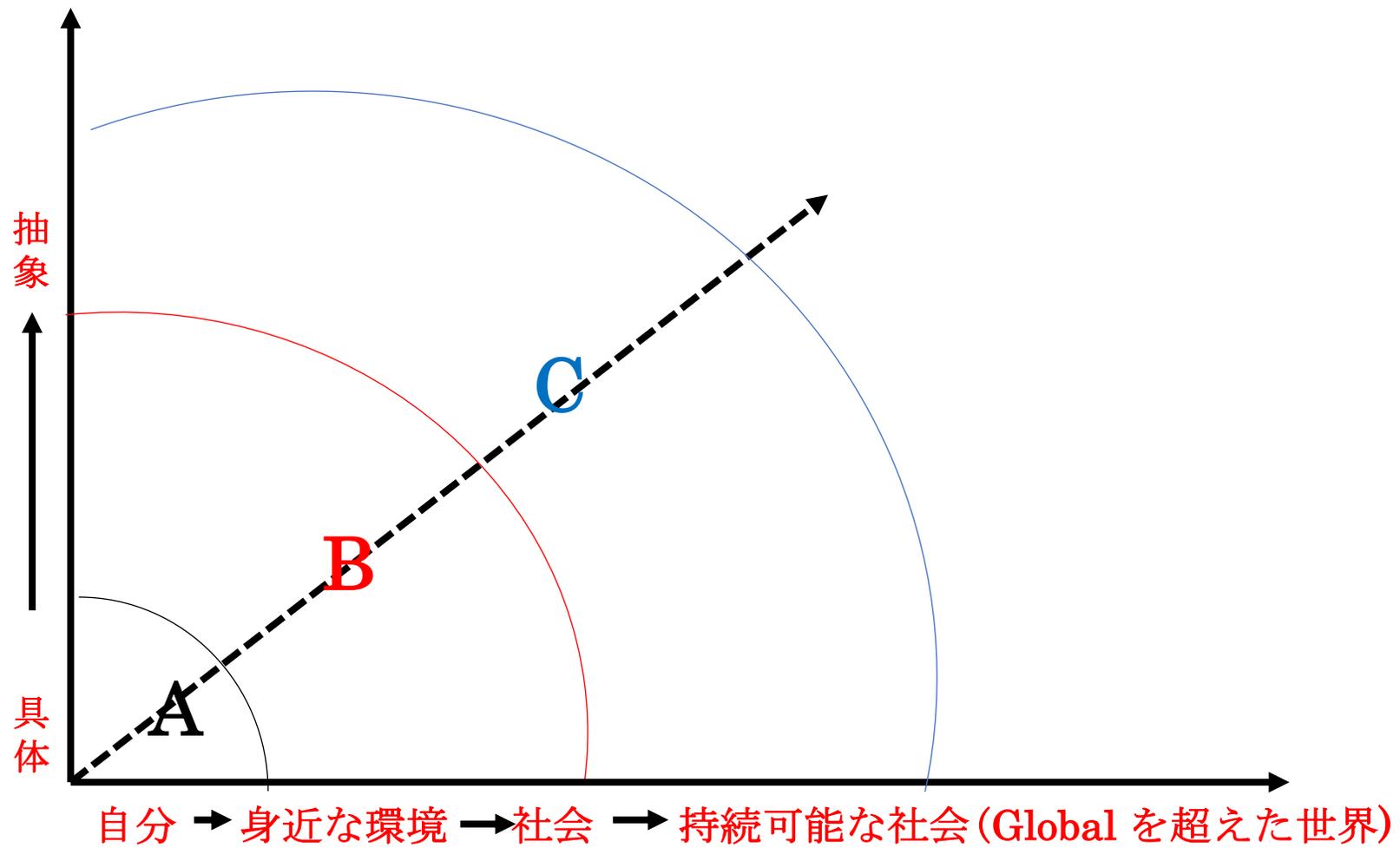
英語を使って何ができるか Can-doに基づく学習指導要領の策定

Common European Framework of Reference (ヨーロッパ言語共通参照枠)

ヨーロッパにおける外国語学習者の外国語習得状況を示す**ガイドライン**。

欧州評議会が「**ヨーロッパ市民のための言語学習**」プロジェクトを推進し、**CEFR**がその共通の枠組となった。

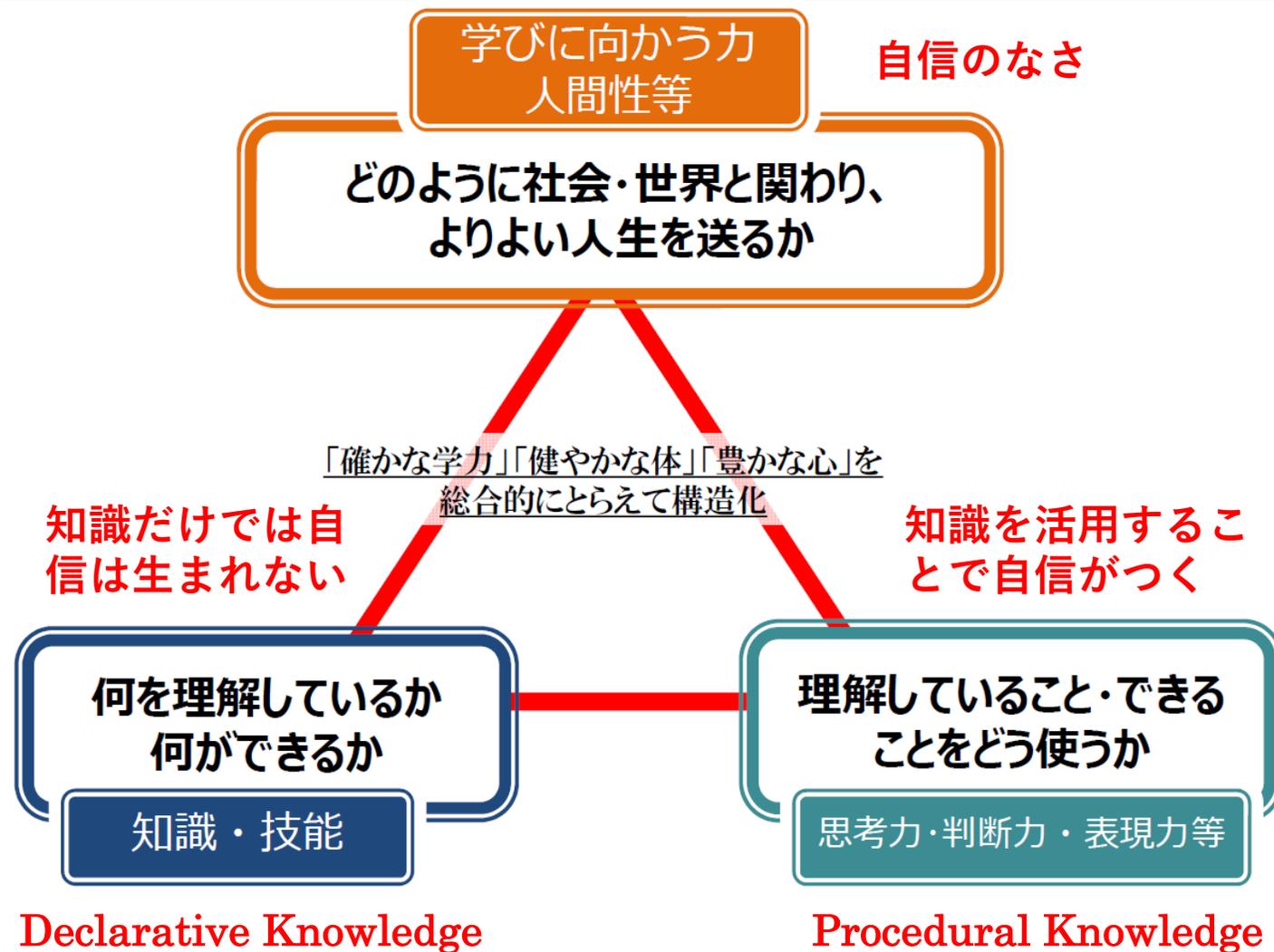
CEFRの目的 = ヨーロッパのすべての言語に適用できるような学習状況の評価や指導を提供すること。何歳になっても、どのような状況にでも適用できる指標であり、**生涯学習**の大切な基準作りを提供している。



段階	CEFR	能力レベル別に「何ができるか」を示した熟達度一覧
熟達した言語使用者	C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確でしっかりとした構成の詳細な文章を作ることができる。
自立した言語使用者	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
	B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
基礎段階の言語使用者	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。

新学習指導要領の基本的な考え方

育成を目指す資質・能力の三つの柱（案）



Active Learning

主体的・対話的な学びを通して深い学びへ

教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。

見方・考え方

「外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、**社会や世界、他者との関わりに着目して捉え**、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、**再構築**すること」

新学習指導要領のポイント

Procedural Knowledge in Real Context

小学校

聞くこと

目標

ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。

イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。

ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。

Procedural Knowledge

言語活動

(ア) 自分のことや**学校生活**など、身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表す**イラストや写真**などと結び付ける活動。

(イ) **日付や時刻、値段**などを表す表現など、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取る活動。

(ウ) **友達や家族、学校生活**など、身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現で話される短い会話や説明を、**イラストや写真**などを参考にしながら聞いて、必要な情報を得る活動。

Procedural Knowledgeを育成するための言語活動

読むこと

目標

- ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。
- イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。

Procedural Knowledge

言語活動

- (ア) 活字体で書かれた文字を見て、**どの文字であるかやその文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動。**
- (イ) 活字体で書かれた文字を見て、その**読み方を適切に発音する活動。**
- (ウ) **日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする掲示やパンフレットなどから、自分が必要とする情報を得る活動。**
- (エ) 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、**絵本などの中から識別する活動。**

Procedural Knowledgeを育成するための言語活動

話すこと [やり取り]

目標

- ア 基本的な表現を用いて指示，依頼をしたり，それらに応じたりすることができるようにする。
- イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について，自分の考えや気持ちなどを，簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
- ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について，簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして，伝え合うことができるようにする。

Procedural Knowledge

言語活動

- (ア) 初対面の人や知り合いと挨拶を交わしたり，相手に指示や依頼をして，それらに応じたり断ったりする活動。
- (イ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄について，自分の考えや気持ちなどを伝えたり，簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動。
- (ウ) 自分に関する簡単な質問に対してその場で答えたり，相手に関する簡単な質問をその場でしたりして，短い会話をする活動。

Procedural Knowledgeを育成するための言語活動

話すこと [発表]

目標

ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

Procedural Knowledge

言語活動

(ア) 時刻や日時，場所など，日常生活に関する身近で簡単な事柄を話す活動。

(イ) 簡単な語句や基本的な表現を用いて，**自分の趣味や得意なこと**などを含めた**自己紹介**をする活動。

(ウ) 簡単な語句や基本的な表現を用いて，**学校生活や地域に関すること**など，身近で簡単な事柄について，自分の考えや気持ちなどを話す活動。

Procedural Knowledgeを育成するための言語活動

書くこと

目標

ア 大文字，小文字を活字体で書くことができるようにする。また，語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

イ 自分のことや身近で簡単な事柄について，例文を参考に，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

言語活動

(ア) 文字の読み方が発音されるのを聞いて，活字体の大文字，小文字を書く活動。

(イ) 相手に伝えるなどの目的を持って，身近で簡単な事柄について，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を書き写す活動。

(ウ) 相手に伝えるなどの目的を持って，語と語の区切りに注意して，身近で簡単な事柄について，音声で十分に慣れ親しんだ基本的な表現を書き写す活動。

(エ) 相手に伝えるなどの目的を持って，名前や年齢，趣味，好き嫌いなど，自分に関する簡単な事柄について，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から言葉を選んで書く活動。

Procedural Knowledge

Procedural Knowledgeを育成するための言語活動

聞くこと

中学

聞くこと (目標)

- ア はっきりと話されれば，日常的な話題について，必要な情報を聞き取ることができるようにする。
- イ はっきりと話されれば，日常的な話題について，話の概要を捉えることができるようにする。
- ウ はっきりと話されれば，社会的な話題について，短い説明の要点を捉えることができるようにする。

Procedural Knowledge

聞くこと (言語活動)

- (ア) 日常的な話題について，自然な口調で話される英語を聞いて，話し手の意向を正確に把握する活動。
- (イ) 店や公共交通機関などで用いられる簡単なアナウンスなどから，自分が必要とする情報を聞き取る活動。
- (ウ) 友達からの招待など，身近な事柄に関する簡単なメッセージを聞いて，その内容を把握し，適切に応答する活動。
- (エ) 友達や家族，学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて，概要や要点を把握する活動。また，その内容を英語で説明する活動。

Procedural Knowledgeを育成するための言語活動

読むこと

中学

読むこと (目標)

- ア 日常的な話題に関して，簡単な語句や文で書かれたものから**必要な情報を読み取る**ことができるようにする。
- イ 日常的な話題に関して，簡単な語句や文で書かれた**短い文章の概要を捉える**ことができるようにする。
- ウ 社会的な話題に関して，簡単な語句や文で書かれた**短い文章の要点を捉える**ことができるようにする。

Procedural Knowledge

読むこと (言語活動)

- (ア) 書かれた内容や文章の構成を考えながら黙読したり，その内容を表現するよう音読したりする活動。
- (イ) 日常的な話題について，簡単な表現が用いられている**広告やパンフレット，予定表，手紙，電子メール，短い文章**などから，**自分が必要とする情報を読み取る**活動。
- (ウ) 簡単な語句や表現を用いて書かれた日常的な話題に関する**短い説明やエッセイ，物語**などを読んで概要を把握する活動。
- (エ) 簡単な語句や表現で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで，**イラストや写真，図表**なども**参考にしながら，要点を把握する**活動。また，**その内容に対する賛否や自分の考えを述べる**活動。

Procedural Knowledgeを育成するための言語活動

話すこと [やり取り]

中学

話すこと [やり取り]

(目標)

- ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて**即興で伝え合う**ことができるようにする。
- イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、**相手からの質問に答えたり**することができるようにする。
- ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、**簡単な語句や文を用いて述べ合う**ことができるようにする。

Procedural Knowledge

話すこと [やり取り]

言語活動

- (ア) 関心のある事柄について、**相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。**
- (イ) 日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、**自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝え合う活動。**
- (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから**把握した内容に基づき、読み取ったことや感じたこと、考えたことなどを伝えた上で、相手からの質問に対して適切に応答したり自ら質問し返したりする活動。**

Procedural Knowledgeを育成するための言語活動

話すこと [発表]

中学

話すこと [発表] (目標)

- ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。
- イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。
- ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。

Procedural Knowledge

話すこと [発表] 言語活動

- (ア) 関心のある事柄について、その場で考えを整理して口頭で説明する活動。
- (イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。
- (ウ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりする活動。

Procedural Knowledgeを育成するための言語活動

書くこと

中学

書くこと (目標)

- ア 関心のある事柄について，簡単な語句や文を用いて**正確に書く**ことができるようにする。
- イ 日常的な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどを整理し，簡単な語句や文を用いて**まとまりのある文章を書く**ことができるようにする。
- ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて，**考えたことや感じたこと，その理由などを，簡単な語句や文を用いて書く**ことができるようにする。

Procedural Knowledge

書くこと (言語活動)

- (ア) **趣味や好き嫌い**など，自分に関する基本的な情報を語句や文で書く活動。
- (イ) **簡単な手紙や電子メール**の形で自分の近況などを伝える活動。
- (ウ) 日常的な話題について，簡単な語句や文を用いて，出来事などを**説明するまとまりのある文章を書く**活動。
- (エ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから**把握した内容に基づき，自分の考えや気持ち，その理由などを書く**活動。

Procedural Knowledgeを育成するための言語活動

英語コミュニケーション I (高校)

聞くこと

聞くこと(目標)

ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。

イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

Procedural Knowledge

聞くこと (言語活動)

(ア) 日常的な話題について、話される速さを調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や放送などから必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

(イ) 社会的な話題について、話される速さを調整されたり、基本的な語句や文での言い換えを十分に聞いたりしながら、対話や説明などから必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握する活動。また、聞き取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

Procedural Knowledgeを育成するための言語活動

読むこと

高校

読むこと (目標)

- ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。

Procedural Knowledge

読むこと (言語活動)

- (ア) 日常的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説などを十分に聞いたり読んだりしながら、電子メールやパンフレットなどから必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。
- (イ) 社会的な話題について、基本的な語句や文での言い換えや、書かれている文章の背景に関する説明などを十分に聞いたり読んだりしながら、説明文や論証文などから必要な情報を読み取り、概要や要点を把握する活動。また、読み取った内容を話したり書いたりして伝え合う活動。

Procedural Knowledgeを育成するための言語活動

話すこと [やり取り]

高校

話すこと [やり取り] (目標)

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、**基本的な語句や文を用いて**、情報や考え、気持ちなどを伝え合う**やり取りを続ける**ことができるようにする。
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝え合うことができるようにする。

Procedural Knowledge

話すこと[やり取り] (言語活動)

- (ア) 身近な出来事や進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で伝え合う活動。また、**やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。**
- (イ) **社会的な話題**について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、**賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに伝え合う活動。**また、やり取りした内容を踏まえて、**自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。**

Procedural Knowledgeを育成するための言語活動

話すこと [発表]

高校

目標 話すこと [発表]

ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、**情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝えることができる**ようにする。

イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、**情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝えることができる**ようにする。

Procedural Knowledge

話すこと[発表] (言語活動)

(ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で伝え合う活動。また、**やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。**

(イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、**対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに伝える活動。**また、発表した内容について、**質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。**

Procedural Knowledgeを育成するための言語活動

書くこと

高校

書くこと (目標)

- ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、**情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える文章を書くことができるようにする。**
- イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、**情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して伝える文章を書くことができるようにする。**

Procedural Knowledge

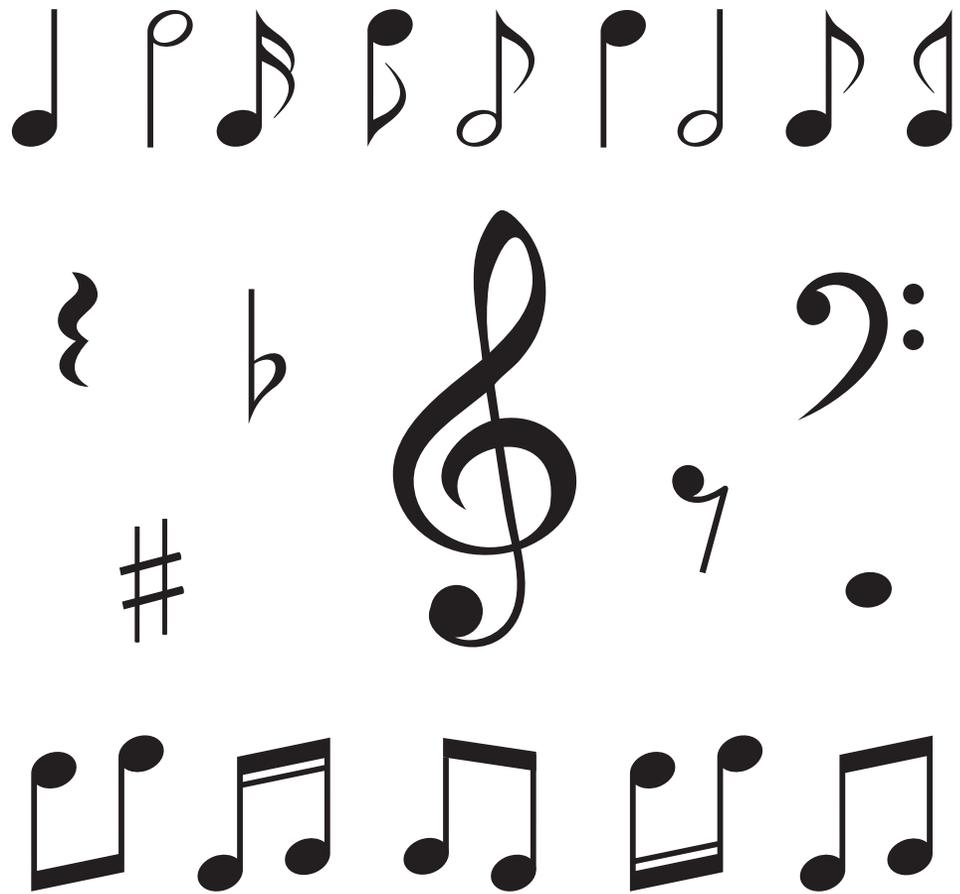
書くこと (言語活動)

- (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに伝える段落を書く活動。また、**書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。**
- (イ) 社会的な話題について、使用する語句や文、文章例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに伝える段落を書く活動。また、**書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。**

Procedural Knowledgeを育成するための言語活動

Can-do中心のコミュニケーションに 文法は必要ないのか?

Greetings, shopping, asking for directions, asking for time, ordering food and drinks, Introducing oneself, talking about what you like, etc.



Declarative Knowledge (宣言的知識) = Knowing **WHAT**

1) What is the meaning of the underlined word?

I went to Kyoto during the summer.

ANS: 行った

2) Fill in the blank with the correct form of the verb.

I (HAVE) a wonderful time in Kyoto last month.

ANS: had

Procedural Knowledge (手続き的知識) = Knowing **HOW**

Hi, I **went** to Kyoto during the summer.

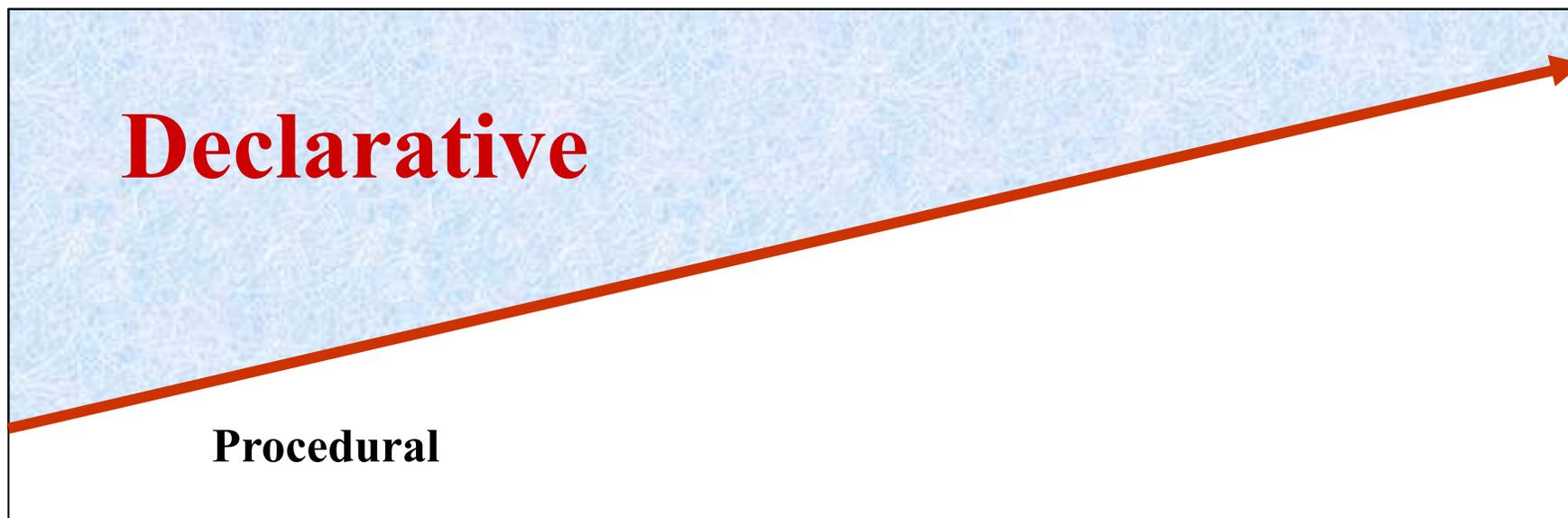
It was great!
I **had** a wonderful time in Kyoto.



Hi, what did you do during the summer?

Really? How was it?

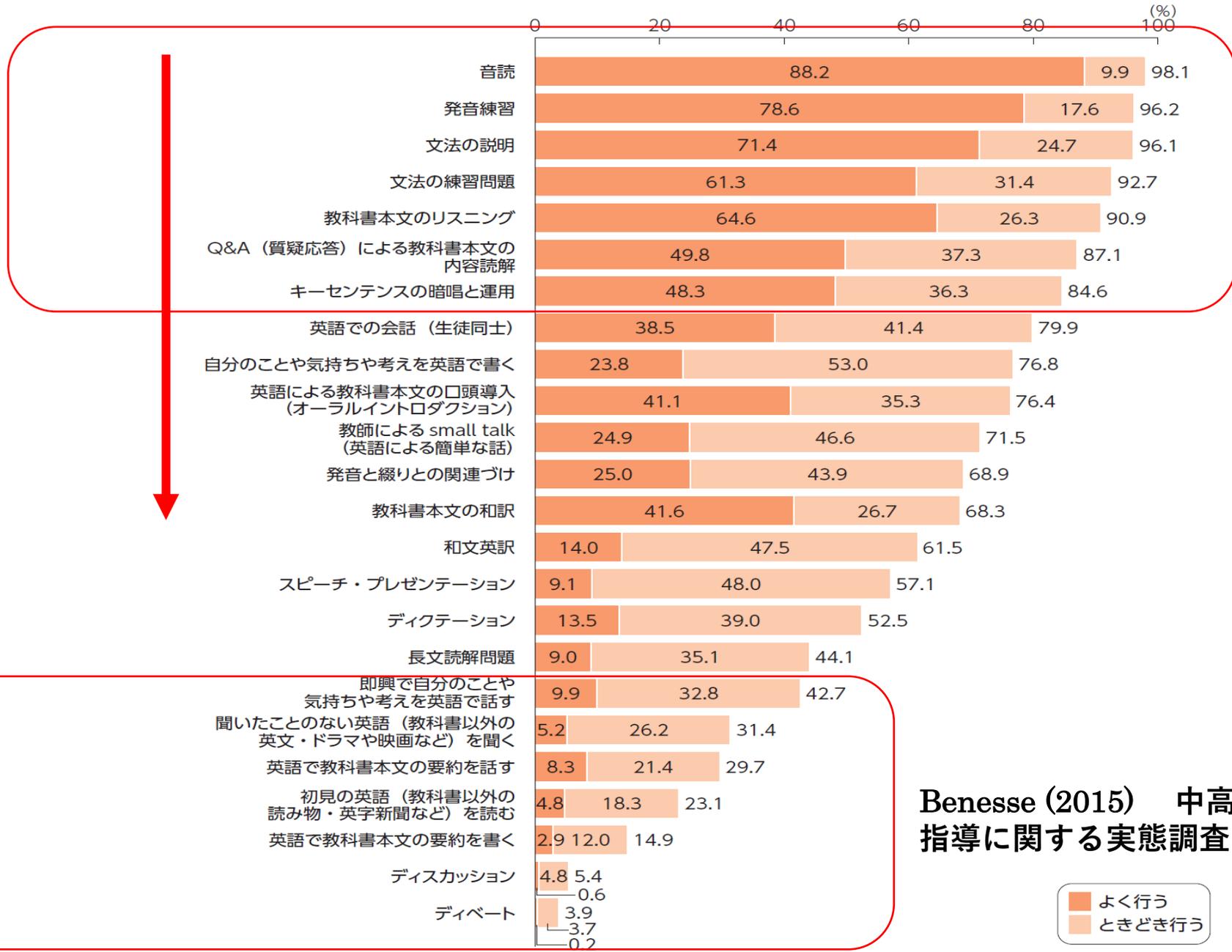
大切なのはProcedural Knowledgeをどう増やすか



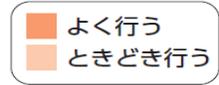
意味のある文脈の中で
使う機会の増加



図1-1 指導方法・活動内容 (中学校)



Benesse (2015) 中高生の英語指導に関する実態調査



小学校 Elementary School (帰納的学習 inductive)

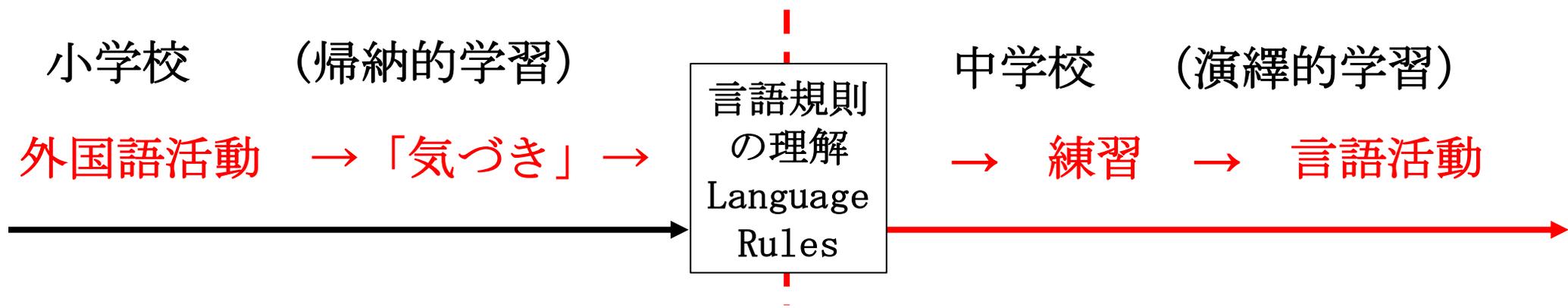
外国語活動 → 「気づき」 → 知的理解

Production Noticing Understanding

中学校 Junior High School (演繹的学習 deductive)

Presentation → Practice → Production (PPP)

知的学習 練習 言語活動



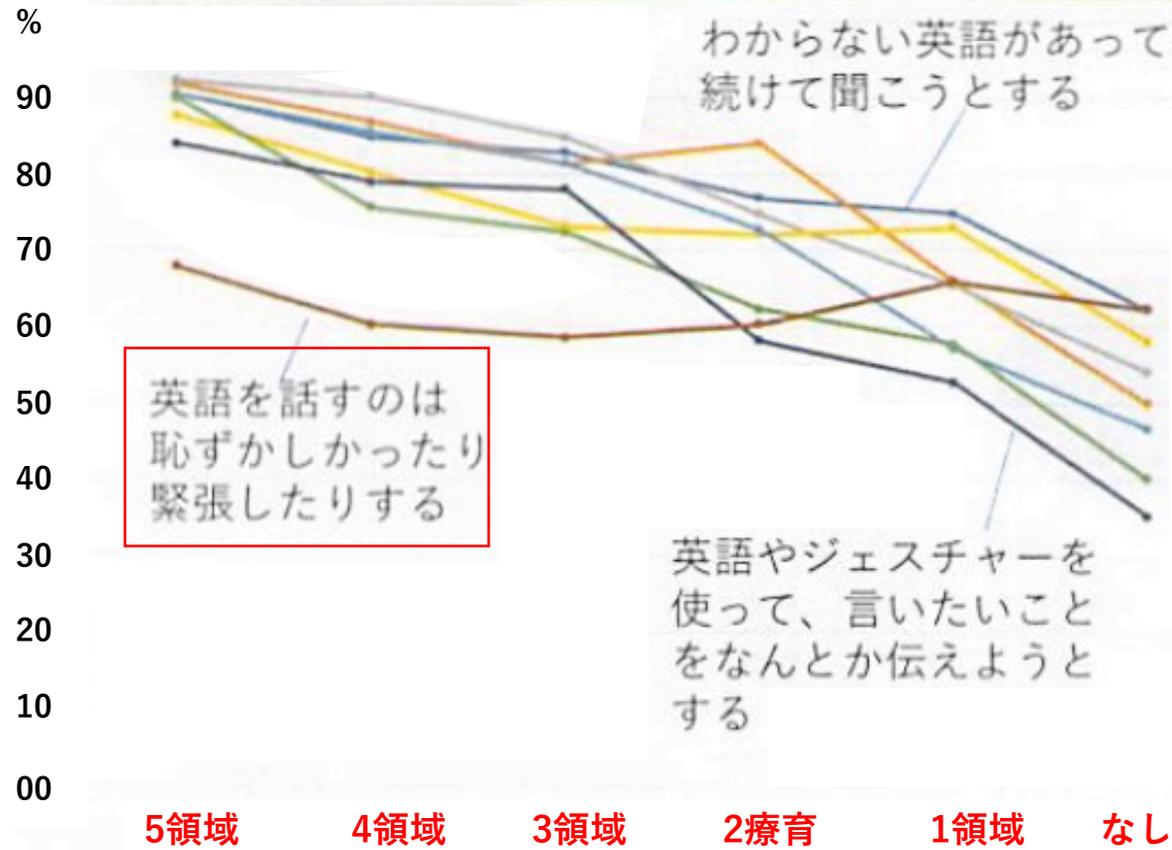
興味関心の重要性

中学生から見た英語の授業
ベネッセ (2018)

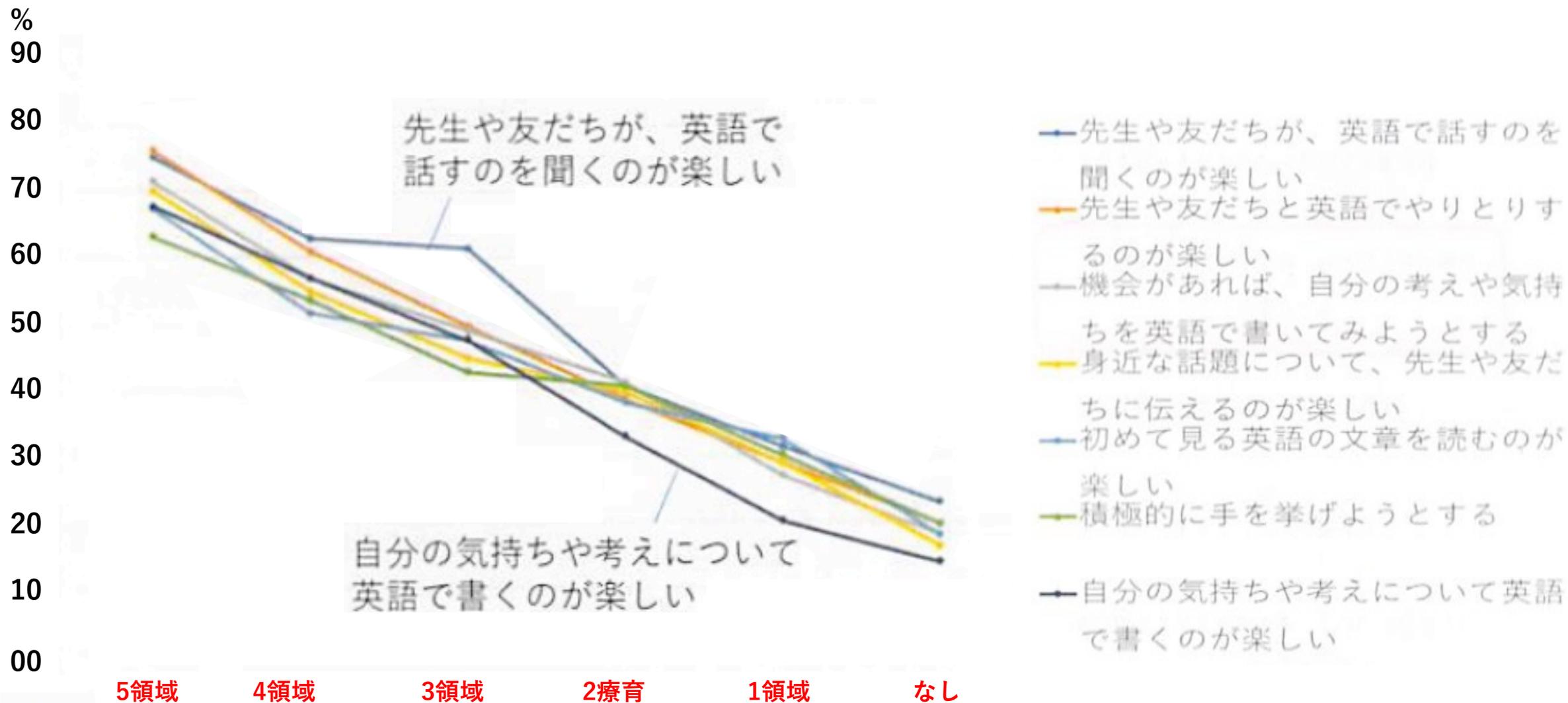
「授業での関心・意欲・態度」×「授業での活動（領域数）」（つづき）

学校の英語の授業の中で、次のようなことをどれくらいしていますか。

「とても+まあそう」の%



- わからない英語があっても続けて聞こうとする
- 英語で話している人の気持ちや考えを理解しようとする
- あいさつや感謝の気持ちをできるだけことばであらわすようにする
- わからない英語があっても続けて読もうとする
- お互いの気持ちや考えを伝え合おうとする
- 聞いた内容がわからないときは、聞き返したり質問したりする
- 英語やジェスチャーを使って、言いたいことをなんとか伝えようとする
- 英語を話すのは恥ずかしかったり緊張したりする



Display vs Referential Activities

Criterion of Predictability (Interrogator)

- 1) know the response/result beforehand or not**
- 2) existence of right and wrong answers**

Criterion of Choice (Respondent)

- 1) restricted choice**
- 2) unrestricted choice**

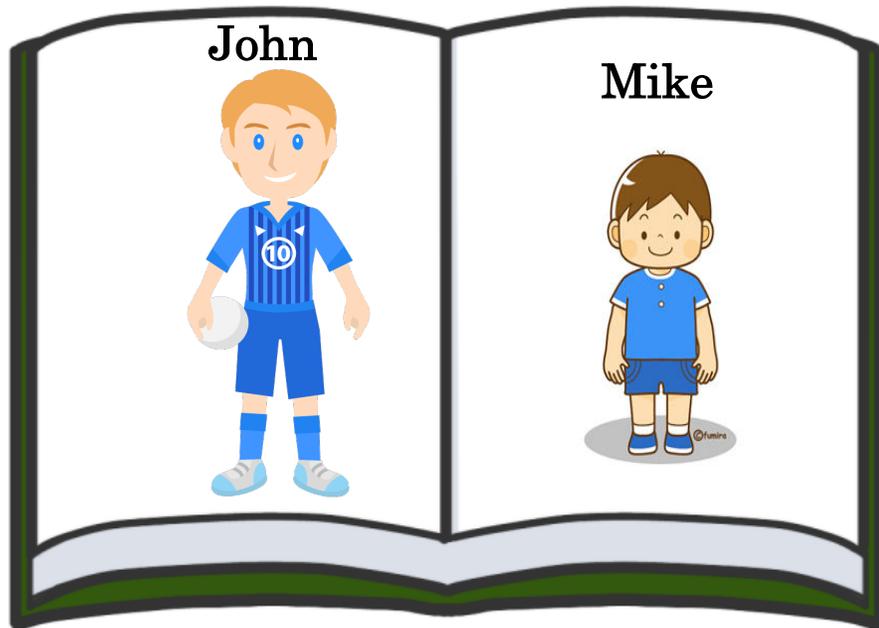
Use of 'Realia'

Textbook exercises are not interesting
Use of real objects
Use of true information
Use of students' ideas, creations

Realiaの重要性

Who's taller, John
or Mike?

Who's Taller, Pikachu or Doraemon?



等身大ピカチュウ
体長40cm

身長 **129.3cm**

クラスの子どもを選んで Who's taller, A or B? と尋ねる

1. 実際に立ってもらう
- 2 座ったままあてる

References

- Benesse (2015) 中高生の英語学習に関する実態調査2014 <http://berd.benesse.jp/global/research/detail1.php?id=4356>
- Benesse (2015) 中高生の英語指導に関する実態調査 http://berd.benesse.jp/up_images/research/Eigo_Shido_all.pdf
- Benesse (2018) 中学生から見た英語の授業
- 文部科学省 (2016) 日本の子供たちの自己肯定感が低い現状について
<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kyouikusaisei/chousakai/dai1/siryou4.pdf>
- ▶ 「小学校学習指導要領」
 - ▶ 「中学校学習指導要領」
 - ▶ 「高等学校学習指導要領」
 - ▶ 「児童生徒の学習評価の在り方について（これまでの議論の整理（案））」
 - ▶ 「英語力評価及び入学者選抜における英語の資格・検定試験の活用促進に関する連絡協議会 資料」
 - ▶ 「平成29年度 英語力調査結果(高校3年生)の概要」
 - ▶ http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/_icsFiles/afieldfile/2018/04/06/1403470_03_1.pdf
 - ▶ 「日本の子供たちの自己肯定感が低い現状について」
 - ▶ 「平成30年度英語教育実施状況調査（http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1415042.htm）」